

令和8年度 DX推進部 運営方針

1 組織目標

(1) DX推進による市民の利便性と職員の労働生産性の向上

将来にわたり安定した行政サービスの提供につなげるため、業務を見直す中でデジタル技術を有効活用し、効率的で質の高い行政サービスの提供を目指します。

また、EBPM、PDCAの着実な実行と市民（利用者）視点による政策立案・見直し、効果的で満足度の高い行政サービスにつながるとの考えのもと、DX人材を育成します。

(2) 情報セキュリティ（機密性、完全性、可用性）の確保

市の情報システムは、個人情報や職務上知り得た情報など重要なデータを有しており、慎重な取り扱いが求められます。物理的セキュリティ、人的セキュリティ、技術的セキュリティのそれぞれの面から、適切な対策を実施します。

2 重点施策・重点事業

(1) 行かない・書かない・待たない窓口の実現

行政手続きの市民の負担軽減と手続きにともなう市の内部事務の効率化を図ります。

- ① 保健医療、福祉、子育て分野を中心としたオンライン申請の拡充

(2) デジタル技術の効果的な活用

行政サービスの質を向上させるため、デジタル技術を活用するとともに、効果的な行政サービスを立案できるDX人材を育成します。

- ① DX人材の育成
- ② 生成AIの活用
- ③ 新たなRPAへの移行
- ④ 施設予約システムの移行

(3) 情報システムの機密性、完全性、可用性の確保と効率的な運用

情報セキュリティを確保するとともに、市の業務の基礎となる基幹系住民情報システムの標準化について市民サービスへの影響に配慮する中で慎重に進めます。

- ① 基幹系住民情報システム等の標準準拠システムへの確実な移行
- ② 情報セキュリティの確保
- ③ 情報システムの効率化（業務システムの全容把握、効率化の検討）